



2009 ~ 2010 年度
R I テーマ

The Future of Rotary Is in Your Hands
ロータリーの未来はあなたの手の中に

国際ロータリー会長 ジョン・ケニー (国籍・スコットランド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ トキハ別府店 7 F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	近藤 賢司	理事	大野 雅治	役員	会長	近藤 賢司	S A A	大野 雅治
	〃 木村 きぬえ		〃 鳴海 淳郎		副会長	木村 きぬえ	直前会長	平野 英壽
	〃 亀井 孝		〃 後藤 隆		幹事	高宮 勝美		
	〃 村津 忠久				会計	河村 貴雄		

VOL. 22-28
2010年2月17日

第 991 回 例会

会報委員長 森 宗明

◆点 鐘 17:30

◆国 歌 君が代

◆R S 奉仕の理想

◆ビジター 梅本 靖之 (中津RC)

荒金 則之、児玉 重信
小川大三郎、遠藤 克尚、
金田 規嗣 (以上日出RC)

西村 昭郎 (大分RC)

一原 哲、佐々木寿郎
(以上大分南RC)

◆ゲスト おおまさ ひろいち
大政 浩一氏
(日本銀行大分支店 支店長)

会長の時間 別府北RC会長 後藤 憲志

ホストクラブの会長ということで、一言ご挨拶をさせていただきます。

今回の合同例会は、4クラブの会長、幹事会の席で合同例会は毎年行われていますが、(時にはガバナー公式訪問が合同例会になったこともありましたが) 昼間の会なので「他クラブの人をあまり知らない」との声が出ている事を踏まえて、今回は夜例会として親睦を深めようの趣旨で決まりました。

◆出席報告 別府北RC出席委員 萩尾 憲司

本日 の 出 席	会 員 総 数	19 名
	出 席 者	11 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
	欠 席 数	7 名
	出 席 率	61.11 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	88.24 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	2 名
2/2	修 正 出 席 率	88.24 %
	連 続	- 回
	通 算	737 回 100 %

・メイクアップ

事前
事後
欠席 衛藤、栢田、河村、森園、中尾、
大島、大野
出席免除 溝部

した。実はこの週の2月23日はロータリーの創立記念日にあたります。

1905年2月23日にポール・ハリスがシカゴで友人3人と最初の会合を持った日です。それを記念して、国際理解、友情、平和への献身を特に認め、強調するように求められています。この趣旨をふまえて、ロータリーの原点であります「職業奉仕、クラブ奉仕」の情報を共有して友情を深めること



の重要性を認識する場所にして頂きたいと思ひます。この二つがあつてこそ次に来る、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕と続くものと確信してゐます。財団、米山に強調される奉仕活動も基本である職業奉仕を親睦、友情を深めることなくしては絵に描いた餅になってしまう。本日は、日銀大分支店の大政支店長様の卓話で「職業奉仕」を磨き後の懇親会で友情を深めて頂きたいと思ひます。最後まで宜しくお願ひいたします。

幹事報告 幹事 高宮 勝美

一世界理解月間一

1. 本日は、別府北ロータリークラブのホストにより「別府市内4ロータリークラブ合同例会」を開催致します。
2. 本日の卓話
「日本銀行大分支店と大分県の経済情勢」
大政 浩一 氏
3. 本日のゲスト
おおまさ ひろいち
大政 浩一 氏（日本銀行大分支店 支店長）
4. 例会変更のお知らせ
別府東RC 3月4日（木）の例会は、RI第3660地区（姉妹クラブ）釜山釜星RC訪問の為、同日18：30～別府ホテル清風に時間・場所変更
5. 次週例会の予定
「第3回クラブ協議会」
6. 本日の回覧
①「2010-2011年度版ロータリー手帳」希望購入
②「第3回クラブ協議会」出・欠席（2月23日）

「第2回家庭集会」開催のお知らせ
 日 時：平成22年3月4日（木）18：30～
 場 所：まちなかカフェ（別府市楠町）予定
 ※来週より出・欠席の回覧を回します。ふるってご参加下さい。

卓 話

日本銀行大分支店と大分県の経済情勢

日本銀行大分支店
支店長 大政浩一

日本銀行と大分県のかかわり

大分県出身の日銀総裁

第5代 山本 達雄 (やまもと たつお)		就任期間：明治 31.10～36.10月 白村出身
第9.11代 井上 準之助 (いのうえ じゅんのすけ)		就任期間：大正 8.3～12.9月 昭和 2.5～3.6月 日田出身
第18代 一萬田 尚登 (いちまだ ひさこ)		就任期間：昭和 21.6～29.12月 野津原出身
第26代 三重野 康 (みえの やすし)		就任期間：平成 1.12～6.12月 白村出身

日銀大分支店長経験者の日銀総裁

第28代 速水 俊 (はやみ まさる)		大分支店長：昭和 42.11～45.4月 総裁就任期間：平成 10.3～15.3月 兵庫県出身
第30代（現在） 白川 方明 (しらかわ まさあき)		大分支店長：平成 6.5～7.12月 総裁就任期間：平成 20.4月～ 福岡県出身

一万円札の顔：福沢諭吉

日本銀行本店

日本銀行大分支店

昭23年開設（現 PARCO の場所）、昭45年に長浜町に移転。

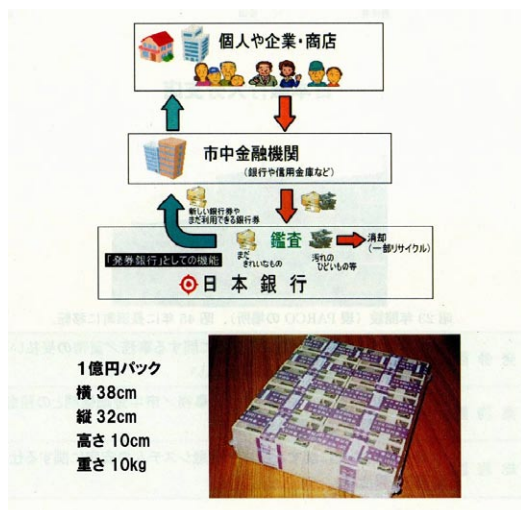
発券課	銀行券の発行、流通および管理に関する事務／貨幣の受払い・鑑査／損傷通貨の引換／国庫金の受払い
業務課	国庫金の取扱い／国債に関する事務／市中金融機関との預金取引／供託・保管有価証券の受付
総務課	景気動向調査に関する仕事／金融システムの安定に関する仕事／広報・広報活動

発券

「発券銀行」としての機能

銀行券は、日本銀行からの発注を受けて国立印刷局で製造され、一旦日本銀行本支店の金庫に保管されます。その後、主として金融機関による日本銀行当座預金の引出しにより、金融機関に支払われ、金融機関を通じ個人や企業に供給されます。様々な取引の決済手段として用いられた銀行券は、金融機関等を通じ再度日本銀行に還流します。日本銀行では、還流してきた銀行券については、銀行券自動鑑査機で真偽と枚数をチェックしたうえで、汚損度合に応じて流通適否の別に整理します。

これを鑑査と呼んでいます。鑑査の結果、流通に適したものは日本銀行から再度市中に供給される一方、不適当なものは、復元できない大きさに裁断され、銀行券の一生を終えることとなります。銀行券の平均寿命は、一万円札で4～5年程度、五千円札、千円札は使用頻度が相対的に高く傷みやすいため1～2年程度となっています。



業務

「銀行の銀行」としての機能

金融機関が日本銀行大分支店に開設している当座預金口座を管理し、金融機関間の取引の決済や手形交換尻決済の場を提供しています。

「政府の銀行」としての機能

国税、交通反則金の受入や、公共事業費や公務員の給料の支払といった、国庫金の受払事務も行っていきます。このうち、税金等の受入は、ほとんどの金融機関の窓口（こうした店舗を「日本銀行歳入代理店」と呼んでいる）でも取り扱っていて、

大分県内で受入れたものはほとんど日本銀行大分支店に集められ、国庫金として計理されています。

総務

県内金融経済情勢の把握

県内の多くの企業から話を聞いたり、各種のデータを収集・分析し、「県内金融経済概況」（四季報：2, 5, 8, 11月発表、別添参照）や「全国企業短期経済観測調査」（短観：4, 7, 10, 12月発表）として取り纏めて公表しています。また、金融機関に対するヒアリングを行ったり、各種経営資料を分析することにより経営実態を把握し、必要に応じ経営改善などを促しています。

「大分県金融広報委員会」の事務局としての活動

大分県金融広報委員会は、県、日本銀行大分支店、大分財務事務所が中心となり、県内金融機関等を構成メンバーとして、中立・公正な立場から、暮らしに身近な金融・経済に関する情報を分かり易く提供する団体です。以下のような活動を行っています。

- ・地域や学校等における金融・金銭教育の講座、講習会、セミナー
- ・金融学習グループでの学習活動、金融・金銭教育研究校等での教育、研究。
- ・学校等や家庭での学習・指導に活用できる教材、資料、ビデオ等の作成・配布。

大分県金融広報委員会

会長：大分県知事

副会長：大分県生活環境部長、大分財務事務所長、日本銀行大分支店長

委員：大分銀行頭取、豊和銀行頭取、県外金融機関支店長ほか

事務局長：日本銀行大分支店次長





クラブ最高齢者に花束



会員コラム

高宮 勝美

県立美術館構想について

県立美術館の新設が考えられています。どこに作るかは未だ決定していませんが、大分市内には大分市立美術館と言う充実した美術館、大分県立芸術会館などがすでにあります。私としては是非とも別府市に作って欲しいと願っています。現在別府市には旅館の払い下げの美術館しかありません、別府市の観光資源、景観、そしてなにより地の利、またこの小さな別府市の中に大学が3校もある文化立市であることなど、これで別

府市の例えば国際観光港付近に県立美術館を作ることが出来れば、素晴らしいと考えます。別府市はまだまだ栄えて行く要素を内在しています。別府市の最大課題である観光浮揚のためにも大きく貢献してくれる要素になります。なにより温泉文化都市としての別府のステイタスにもなります。別府市は他県からの玄関口です。なんとかとも誘致したいものです、皆さんの協力とお知恵を拝借。